

【日記の日付…昭和7年8月1日（月）】

【本文】

昭和七年八月一日 月、晴、

朝八時前日ノ約束ヲ履シ宇垣総督
ヲ私邸ニ訪問時局談約一時間長津
江水電ハ最早三ヶ年以内ニ着手ノ
見込立タザルヲ以テ任意ニ処分サレ度旨
申置ク

【日記の日付…昭和7年8月1日（月）】

【本文】

「前頁の続き」

一應歸宅十一時出社

午后食後濱田造船会長ヲ招キ全氏

心付

退職ニ付~~注意~~ノ件ヲ述べ置ク

午后貳時三十四分ノ汽車ニテ壽美ト

共ニ新橋驛ヨリ搭乗車中岩崎

隆弥君一家ノ宮ノ下富士屋ニ赴クニ

会合ス午後五時半強羅着別荘

ニ入ル涼風襟ヲ吹テ快云フ可カラス

夜ニ入りテ少シク雨アリ

照り続く暑さにあへぐ人も

ヨミカヘル

木も今宵の雨に蘇りけり

夜雨来り白百合庭にそよぎけり

【日記の日付…昭和7年8月1日（月）】

【本文】

「続き」

快ク睡眠ス

【日記の日付…昭和7年8月2日（火）】

【本文】

八月二日 火 晴 日中八十度

昨午后登山電車ノ車ノ内ニテ杵原栄
三郎氏ニ出会＊話＊強羅幹道修繕
ノ件ニ及ビタリ今朝＊午后＊同氏来訪全
件ニ付藤山、岩原両氏ト＊午前十時＊倉田
屋ニテ会合願度トノコトニ付承知
返答ス

【日記の日付…昭和7年8月3日（水）】

【本文】

八月三日 水 晴

今朝杵原氏ヨリ藤山氏歩行
困難ニ付全氏宅ニテ会合ノコトニ

【日記の日付…昭和7年8月3日（水）】

【本文】

「続き」

シタシトノ申越アリ承知ノ旨返答
シ十一時全氏ノ別邸ニ赴ク＊道路＊補粧ノ
見積千六百余円万事ハ杵原氏ニ
依頼ス全氏＊時＊補粧費助人トシテ
岩原藤山杵原自分ノ四人署名
ス日電ニ掛合ノ為メナリ
小川平吉三男平三氏死去ノ報
アリ会社平田氏ニ香奠貳拾円
贈リ方ヲ依頼セシム

【日記の日付…昭和7年8月4日（木）】

【本文】

八月四日 木 半曇

昨日ヨリ風荒ラシ台風九州ノ

【日記の日付…昭和7年8月4日（木）】

【本文】

「続き」

西岸ニ沿ヒ北東ニ進ムノ為メナラン
夕小川平吉氏ニ弔電ヲ発ス
昨今両日共夜分小雨アリ

【日記の日付…昭和7年8月5日（金）】

【本文】

八月五日 金 曇

時ニ小雨降風尚止マズ
留守宅ヨリ小寺電燈取付ノ請
求（百四拾余円）アリタリトノコトニ付
月末支払日ニ来ラズ月ヲ越ヘ留
守中ニ請求アルモ月末迄ハ支払
難キ旨返事セシム尚強テ依

【日記の日付…昭和7年8月5日（金）】

【本文】

「続き」

頼アラバ当方ニ来ル可シト申添ユ

本日温度七十六度

【日記の日付…昭和7年8月6日（土）】

【本文】

八月六日 土、晴

昨夜ノ風ハ時ニ小雨ヲ伴ヒ相当

強カリシモ今朝ハ雨止~~ミ~~ 風静

カニ絶好ノ天気ナリ

義介ハ長府ヨリ歸来スル春子、

弥一ニ*東京ヨリ*国府津駅ニテ会合家族

ノ避暑中ナル芦ノ湯紀ノ国屋ニ

夕五時頃登山ノ電話アリ

【日記の日付…昭和7年8月7日（日）】

【本文】

八月七日 日 晴

【日記の日付…昭和7年8月7日（日）】

【本文】

「続き」

義介夫婦来訪ノ筈ナリシモ取消
シテ来ラス子供連レニテ湖畔ニ赴キ
シナラン

午后＊三時過＊壽美、一郎、
、ヲ伴ヒ上

強羅早雲山麓ニ登リ金時茶

屋ノ上ノ茶屋ノ茶屋ニ憩ヒ木

劍二本ヲ購ヒ（七十錢） 男ト

フキ

一郎ノ兩人ニ渡ス歸路野露采

ヲ採ル

留守中三谷一二氏来訪、

【日記の日付…昭和7年8月8日（月）】

【本文】

八月八日 月、晴

【日記の日付…昭和7年8月8日（月）】

【本文】

「続き」

石橋貞男ナル仁ヨリノ来翰ニ付

三谷氏ニ傳言ヲ托セント思ヒ問合セ

タルニ昨夕＊七時＊已ニ歸京セリトノ報
アリ

諸戸別荘ヘノ滯留客ハ金谷

大将夫婦ナルコトヲ確メタルモ全氏

夫婦ハ今朝下山セリト聞ク

【日記の日付…昭和7年8月9日（火）】

【本文】

八月九日 火 曇驟雨

午前十一時鮎川みよ子春子、

弥一兩人ヲツレ来ル午餐ヲ共

ニシタ五時頃歸宿

小ナル鯉金魚ト共ニ六拾八匹ヲ拾圓ニ購フ

【日記の日付…昭和7年8月10日（水）】

【本文】

工業倶楽部膳常任理事ヨリ送り来リタル満州使節ノ一行ニ対スル歡迎挨拶ノ筆記ヲ加筆返送ス

八月十日 水 曇時ニ小雨

台風又々琉球ノ南東ニ起リ秒速五十米ノ速力ヲ以テ北上為メニ時ニ驟雨アリ夜ニ入り大量ノ雨アリ
東京附近*郊外併ニ箱根山下共*三週間ニ亘リテ降雨ナキニ苦ミタルモノ今夜ノ雨ニテ野宋人畜蘇生ノ思ヒアラン
夕強羅ニテ調髪（四十銭ノ処五十銭ヲ與フ）

【日記の日付…昭和7年8月11日（木）】

【本文】

八月十一日 木 曇時ニ小雨

今朝*壽美*五時五十五分ノ電車ニテ下山日歸リノ豫定ニテ歸京家庭ノ用事ヲ弁スル為メナリ

【日記の日付…昭和7年8月11日（木）】

【本文】

「続き」

三島ヨリ＊金魚屋＊鯉ヲ持参ス当方ノ注文ニ

應シタルナリ前日ノ魚屋ハインチ

キナルコトヲ確メタリ氣ノ毒ニ思ヒ

大鯉拾四匹＊尾（外五十斗ノ小鯉）＊ヲ金拾五円ニテ購ヒ

池ニ放ツ

台風ハ今夕四國又ハ紀州ニ上陸

ノ筈ナルモ天気豫期シタル如ク悪

カラズ時々小雨アルモ白雲青天ヲ

見ル

壽美＊后＊八時五分ノ電車ニテ歸山

東京市中ニハ未タ一滴ノ雨ナシト云フ

【日記の日付…昭和7年8月12日（金）】

【本文】

八月十二日 金 曇天時ニ少雨

静養

后式時金子直吉氏卒然来訪

例ノ件ナリ夜驟雨アリ

【日記の日付…昭和7年8月13日（土）】

【本文】

八月十三日 土 曇晴

朝曇リタルモ午后ハ晴タリ

壽美、牧太郎、数男、一郎ヲ

伴ヒ向山竹藪見分ニ赴ク買

入後約十年林口ニ見直シタリ

夜ニ入りテ又驟雨アリ

朝＊タ＊義介ヨリ上塚司氏来訪ノ件ニ付打合せアリ

【日記の日付…昭和7年8月14日（日）】

【本文】

八月十四日 日 晴

朝十時頃大磯萩原唯一氏

鮮魚及グリーンゲージヲ携へ

来訪強羅ノ蕎麦ヲ饗ス、

后式時大蔵參與官上塚司氏

来訪アマゾニア拓殖ノ件ニテ

書類ヲ具ヘテ＊一時間余＊説明アリ結局

開墾会社設＊創＊立ノ為メナリ蕎

麥及グリーンゲージヲ饗ス上塚

氏ゲージニ舌鼓ヲ打ツ

【日記の日付…昭和7年8月14日（日）】

【本文】

〔続き〕

夜芦ノ湖岩崎邸ニ対シ明日
午后往訪ノ都合ヲ聞ク依之
明朝濱田彪氏来訪ヲ承知ス
一天晴レ渡リ十三日ノ月皓
々タリ

【日記の日付…昭和7年8月15日（月）】

【本文】

八月十五日 月 晴

朝十時濱田彪氏来莊造船
会社会長辞職*任*退職ニ付挨拶
ノ為メナリ昨午后芦ノ湖社長
邸ニ赴ムカレタルナリ午餐ヲ共ニ

【日記の日付…昭和7年8月15日（月）】

【本文】

「続き」

シ后一時辞去

同一時半壽美全道二ノ平ヨリ

自動車ニテ芦ノ湖畔社長邸

ヲ訪ヒ社長御夫婦ニ面会久田

宗匠ノ手前ニテ薄茶ノ饗

應ヲ享ケ閑談ニ時ヲ移シ

四時五十分辞去手土産トシテハ

例ノ通蕎麦（本年ハ強羅）及

鯨ノ骨細工ノ手拭入ヲ持参シ歸

リニハ＊全氏＊手造リノアスパラガス一束

ヲ貰来レリ

【日記の日付…昭和7年8月15日（月）】

【本文】

「続き」

数男、一郎ヲ全伴訪問中郷＊遊＊船
会社ノ船ニテ湖上湖尻迄往復
セシメタリ（一人前各一円宛）
五時半歸宿アスパラガス晩ノ
食膳ニ上■ズ鐘詰ノ比ニアラズ
此日風強ク湖边ハ寧ロ寒
冷ノ思ヒアリ
夜ニ入りテ雨

【日記の日付…昭和7年8月16日（火）】

【本文】

八月十六日 火 雨半曇

夜来ノ豪雨十二時頃漸ク止

【日記の日付…昭和7年8月16日（火）】

【本文】

「続き」

ム雖然本日大文字ノ点火

ハ見合セトナリタリ

近藤眞一夫婦ハ眞一下痢

ノ為登山見合セトナリ＊電話ア＊~~ナ~~リ東京

ハ今暁ヨリ初メ雨降レリト聞ク

午后貳時半箱根宮ノ下郷別邸

膳桂之助氏ヨリ只今登山明日

正午当邸御来光ノ節御話ノコト

ニ致シ度ト電話アリ承知返事
ス

全五時留守宅山本ヨリ

今朝一時余社秘書役 武藤

【日記の日付…昭和7年8月16日（火）】

【本文】

「続き」

大将明夕東京会館ニテノ留別宴

ニ是非出席願度ト申来リタル旨電

話アリ右ニ付指圖スル処アリ

夜ニ入りテ霧深シ

【日記の日付…昭和7年8月17日（水）】

【本文】

八月十七日 水曜、曇天

朝十時＊満州軍司令官＊武藤大将招宴ニ付秘書役

場平田恒太郎氏ト打合ス処アリ

正午宮ノ下郷男別邸ニ赴キ天扶

羅ノ御馳走ヲ享ク昨夕ヨリ商業

会議処ノ渡辺、経済聯盟ノ膳＊高島＊

及工業倶楽部ノ膳氏宿リ居リ

【日記の日付…昭和7年8月17日（水）】

【本文】

「続き」

相客トナレリ食前＊北＊満洪水救恤

資金募集ノ件ニ付打合せアリ

食後渡辺氏ト対局（二目置）二局

敗北四時半辞去

会社平田氏ヨリ武藤大将ノ招宴ニハ

串田氏出席尚平田氏陸軍省

西

ニ赴キ官房曲村氏ニ面会丁寧ニ挨拶

シ置キタル旨電報アリ

芦ノ湖岩崎邸ヨリ姫鱒七尾ヲ

贈ラル三尾ヲ岩原謙三氏ニ裾

分ス

昨日延期ノ公園福引及＊向山ニ＊大文字

【日記の日付…昭和7年8月17日（水）】

【本文】

「続き」

ノ点火アリ点火ハ七時半頃成績
頗良好約壺時間ハ鎮火セズ余
興ニハ花火、獅子舞白人芝居
アリ停車場附近ハ賑ヘリ

打揚くる花火につれてたそがれに

山のは高く燃ゆる大文字

生霊を送る焰の大文字

あの世の道も輝きなるらむ

子供女中ハ十二時近く迄芝居見

ニ赴きたれり

夜半ヨリ驟雨降る

【日記の日付…昭和7年8月18日（木）】

【本文】

八月十八日 木、雨

昨夜ヨリ降続ケリ夕刻晴ル
依テ明日駿豆自動車道通
ヲ目論見自動車ノ手宛ヲ
ナシ昨年使用シタル強羅タキ
シーヲ（ナツシユ）約束ス

【日記の日付…昭和7年8月19日（金）】

【本文】

八月十九日 金曜 晴

午前八時四十分壽美及貴
志ヲ伴ヒ自動車ニテ元箱
根ヲ通過シ新道ニ到ル新
道ハ本月九日開通シタルモノ

【日記の日付…昭和7年8月19日（金）】

【本文】

「続き」

路

ニテ箱根山ノ頂上ヨリ鞍掛
十国峠ノ連峰ノ西側約三千
尺ヨリ式千四百尺ノ高地ヲ
沿フテ熱海三島ノ街道ニ
連続スルモノニテ斧鉞ノ
入ラザル高地ノ森林地帯ト
青キビロードノ如キ牧草ノ地

縦

帯ヲ通断シ風景絶佳
途中下車勇ヲ鼓シテ十
国峠ニ登ル登リ約五丁頂

【日記の日付…昭和7年8月19日（金）】

【本文】

「続き」

上二十国五島眺望ノ方位

ヲ示スノ自然石アリ何レ學校

ニヤ子女十人斗母親全道

ニテ先ニ頂上ニアリ蜜雲ノ

点

為メ富士ノテン望ヲホシイ

マヽニスルヲ得サルヲカコチ居

レリ余等モ全感ナリ壽

美撮影ス＊十一時五分＊下山再度自動

車ニテ熱海ヲ歷テ湯河

原ニ到リ十二時半露木橋

【日記の日付…昭和7年8月19日（金）】

【本文】

「続き」

側ノ若松屋ニ入ル若松

屋本姓伊東震災ノ当時

余力家ニ務メタル女中芳＊よし女＊

ノ縁付タル旅館ナリ二流ノ

宿屋ナルモまゝねの内湯ハ名

よし

高しとの事ナリ芳接待

大ニ勉ム食後桜山ノ公園

ニ案内セラレ湯治場ノ要領

ヲ得タリ当処ハ川ヲ挟ミテ上

流ニ一流ノ旅館建連ナレリ天

【日記の日付…昭和7年8月19日（金）】

【本文】

「続き」

野屋富士屋中西伊東屋ナド
其最ナルモノ見掛ハ修善寺
ヨリ勝レルガ如シ公園ヲ下り乗
車合ニテ清瀬橋ノ井上侯爵
別邸ノ外観ヲ見（留守居
不在）宿リ歸リ支拂ヲ為シ
（中食四人五円茶代十五円女中
二式円）四時半発程六時十分
強羅ニ歸莊真名窪崎ヨリ
根布川ノ辺ハ降雨ノ為本道
崩壊狭キ旧道ニヨリ頗ル危

【日記の日付…昭和7年8月19日（金）】

【本文】

「続き」

険ナリシ自動車貸式拾五円
外ニハ拾銭ノ自動車専用道
路通過料ヲ支払フ乗合ハ

熱海元箱根間一人壱円ナリ
運轉手ハ昨年ノ助手ニテ車ノ
持主ノ息子寡言ニテ注意
深シ昨年末乙種ノ免状ヲ
得タト云フ

湯河原ハ山間ノ地熱海ヨリハ
涼シキモ箱根トハ温度周囲

【日記の日付…昭和7年8月19日（金）】

【本文】

「続き」

モ比格ニハナラヌト貴志意張
モオカシ（島村金次郎留守ニ訪問）

【日記の日付…昭和7年8月20日（土）】

【本文】

八月廿日 土曜 曇

雨ハ降ラザルモ天気ハ昨日ヨ
リ劣レリ良キ折ニ巡覽シタ
リト思フ夜雨

【日記の日付…昭和7年8月21日（日）】

【本文】

八月廿一日 日曜 曇

時々驟雨アリ朝旧一福ノ女将
来ル道了別院側陰棲庵
ノ建築費貳千円募集ノ為

【日記の日付…昭和7年8月21日（日）】

【本文】

「続き」

奉加帳持参一口百円ノ寄

附ニツク三十年賦トノコトナリシモ

即金ニテ支払ヒタリ

壽美ハ庭内下木ノ＊移＊植ニイソシム

【日記の日付…昭和7年8月22日（月）】

【本文】

八月廿二日 月、半曇

時ニ小雨降リタルモ慨シテ天

氣宜シ

壽美今朝立返リノ積リニテ

歸京余ノ身辺ヲ氣遣ヒ歸

京後用意ノ為メナリ余ハ切ニ

止メタル是レ已ハ思フマヽニサシ

【日記の日付…昭和7年8月22日（月）】

【本文】

〔続き〕

呉レヨトノコトニテ其意ニ儘セタ
リ

式時前頃本社三好常務ヨリ兼

テ宮内省ノ出様ヲ伺ヒ居リタル

賑恤寄附ノ件宮内省ノ意向モ

発表セラレタルニ付当方モ三百万

円寄附ノ事ニ社長ト一昨日登

函決定ノ旨通知アリ年限方

面ハ未タ確定セザルモ兎モ角本日

公表ノ筈ナリト通知アリ

午後三時半島村金次郎ノ別

荘ヲ訪フ主人ハ一昨日已ニ歸京

【日記の日付…昭和7年8月22日（月）】

【本文】

「続き」

セラレタリ

壽美夜八時五分着ノ電車ニテ歸

莊池田扣家当分借受ノ事ハ三浦

ニ交渉ノ末先方異儀ナキモ考慮ノ

末見合セタリトノ報告アリ尚東京ハ

本日返テ豪雨ナル旨申居レリ

三菱三百万円義捐ノ旨各新聞夕刻ニ発表セラル

【日記の日付…昭和7年8月23日（火）】

【本文】

八月廿三日 火、曇

曇天時ニ小雨アリ

昨朝花房太郎子爵心臓麻痺

ニテ遽ニ逝去枢蜜顧問江木千之

翁モ昨夕易籍セラル依テ会社ノ秘書

役ニ電話シ供華ト会葬ノ事ヲ依

【日記の日付…昭和7年8月23日（火）】

【本文】

〔続き〕

頼ス前者ハ廿四日後者ハ廿五日何レモ

午後青山斎場ニテ宮葬ノ筈

午后弔時頃社長ヨリ三百万円義捐取

極ノ件ニ付電話アリ

【日記の日付…昭和7年8月24日（水）】

【本文】

八月廿四日 水、曇天

時々驟雨来ル

朝小林喜太郎ヲ招キ茅葺家

屋ノ前ノ石垣築直シヲ依頼ス始メテ

全人ト将碁ノ手合セヲナス一勝一敗

午后四時半壽美ト康弥君ノ別邸

ヲ訪フ全氏昨日*夕*登山土産物ヲ贈ラ

【日記の日付…昭和7年8月24日（水）】

【本文】

「続き」

レタル答禮ノ為メナリ

壽美ハ歸途島村金次郎夫人ヲ訪ネ

遅レテ歸莊途次有慘臭キ者邸

内ヲ窺ヒ居ル事ヲ發見跡ヲツケシムル

処下隣ニ神奈川縣下*民参集*社会事業講

習会ノ催アリ昨日ヨリ二十六日ニ亘リ

一日貳百人以上無慮千名ニ上ル旨ヲ確

メタルト全時ニ邸内ヲ窺フ者單ニ一

人ニ止マラス獰猛ナル婦人連レノ一人モ

亦均シク女ヲシテ垣根ヲ分ケテ邸内ヲ

視察セシメ居ルコトヲ發見シタリ壽美

万一ヲ慮リ切ニ余ノ注意スル処アリ

【日記の日付…昭和7年8月24日（水）】

【本文】

〔続き〕

依テ明タノ歸京ヲ繰上ケ急遽

歸京ノコトトシ晚餐後＊壽美ト共ニ数夫ヲ伴ヒ＊八時四十五分

発自動車ニテ国府津驛ニ赴キ

十時二十二分発ノ汽車ニ連絡シ十一時五十

分新橋驛下車＊長敷則ノ出迎ヲ受ケ＊十二時半歸宅

ス途次強雨ノ為メ四谷目附ニテタキ

シト衝突当方ニ多少ノ損害アリ

明朝直様修理ニ取掛ラシム

強羅出立ノ節＊滞在中ノ＊賄費＊其他雜費＊貳百七拾三円余

牧太郎＊夫婦＊ノ給料百拾円外ニ七八立替払

六拾五円余修繕費残（約五拾円内外ナル可シ）

宛二六百元（内拾円ハ牧太郎夫婦へ心付拾円

【日記の日付…昭和7年8月24日（水）】

【本文】

「続き」

知

ハふじ半恵兩人ノ歸京旅費宛ニ兩人

ニ渡スコトニ廿六日朝指圖）ヲ渡シ貴志

ニ八百五拾圓外ニ＊旅費五円＊数夫ニ拾円ヲ貴志

ニ渡シ合計七百六拾五円ヲ支払ヒタリ